

# 平成 28 年度京都府公立高等学校入学者選抜前期選抜における共通学力検査の出題について

## <出題方針>

中学校学習指導要領に基づき、各教科とも中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置くとともに、知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等が的確に把握できる出題とする。また出題範囲は、中学校学習指導要領の趣旨に沿った、標準授業時数での学習範囲において、生徒が履修している各教科の内容をふまえた適切なものとなるようにする。

## <特徴>

基礎・基本の定着、論理的思考力や判断力・表現力をみる

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着と、基礎・基本の理解からその発展的問題への思考過程をみるとともに、生徒が身に付けたさまざまな知識・技能等を活用して総合的に考え、判断・解決し、表現できるかどうかをみる記述式の解答を求める問題を設けた。

## <各教科の特色と傾向>

### 【国語】

- 1 現代文では、選択問題で、筆者の表現の仕方に注意して内容を的確に読み取る力をみるとともに、記述式の問題などで、文章の構成をとらえて筆者の主張を簡潔にまとめる力もみた。また、言葉の特徴やきまりに関する事項、漢字に関する事項についての理解をみる問題と、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の内容に関連する問題を設けた。

〔出典〕 「日本画を描く悦び」 せんじゅうひるし 千住博 (光文社)

「哲学の使い方」 おくだきよかず 鷲田清一 (岩波書店)

問題文は、日本画家である千住博氏による、制作の過程や考え方について述べた文章と、哲学者である鷲田清一氏による、哲学のあり方や問題の捉え方について述べた文章である。本文の内容を的確に理解することで、文化、社会、人生などについて視野を広げたり考えを深めたりすることを期待する。

- 2 古文では、中世の文章を題材とし、内容を読み取る力をみるとともに、歴史的仮名遣いなどについて問い、古典を理解する基礎が身に付いているかどうかをみた。なお、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、現代との考え方の違いや登場人物の思いなどについて考える出題となるように留意した。

〔出典〕 「古今著聞集」(「新潮日本古典集成」新潮社より)

たちばなのなりすま 橘 成季によって鎌倉時代に編纂された説話集。

問題文は、宮中における当意即妙のやりとりについて書かれた文章である。問題文の内容を読み取ることで、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典の世界に親しむ態度が養われていくことを期待する。

### 【数学】

- 1 数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得できているかどうかをみるとともに、それらを活用してさまざまな事象を数理的にとらえ、見通しをもって論理的に考察する力をみるように工夫した。また、三角形の合同に関する証明の記述問題については、根拠を明らかにし、筋道立てて表現する力をみた。
- 2 与えられたグラフから、問題解決に必要な情報を読み取ってグラフの特徴と具体的な事象を結びつける問題を設け、関数関係を見いだし考察する力をみた。また、板を並べる問題については、事象を数理的にとらえ、根拠をもって法則を見いだし、問題を解決する力をみるように工夫した。

### 【英語】

- 1 生徒の身近な暮らしに関わる場面についての設問を通して、英語でのコミュニケーション能力の基礎が身に付いているかどうかをみた。絵を見て会話文を読み、言語の使用場面や働きに留意しながら基本的な語彙や文法などの知識を活用して、ふさわしい表現ができるかどうかをみる記述式の問題とした。
- 2 読解問題は、スタイルの異なる2つの文章から出題した。マラソン大会に関する会話文では、主に、必要な情報を整理して読み取る力をみた。また、漆器を題材とした英文では、語句や文、文法などに関する総合的な知識が身に付いているかどうかをみるとともに、内容を正しく読み取る力や、論旨をふまえて適切に英語で表現する力をみる問題も設けた。
- 3 リスニング問題では、会話を聞いて必要な情報を理解し、質問に対する適切な応答を考える力が身に付いているかどうかをみた。また、まとまった内容をもつインタビュー形式の会話を聞いて要点をとらえる力をみるとともに、会話の内容を正しく理解して適切に応じることができるかどうかをみた。